

令和 8(2026)年度

人 間 環 境 大 学 大 学 院
松 山 看 護 学 研 究 科

(博士前期課程)

学生募集要項

人間環境大学大学院
松山看護学研究科

博士前期課程

目 次

博士前期課程 目次.....	1
〈教育理念・教育目的・教育目標・入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)〉	2
(カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー)	3
1. 専門分野・領域・募集人員・取得できる学位.....	4
2. 各専門領域の担当教員	5
3. 修業年限	6
4. 入試日程	6
5. 出願資格	7
6. 研究領域等についての事前相談	7
7. 入学資格審査について	8
8. 出願手続・出願書類等.....	9
9. 出願に関する注意事項.....	10
10. 入学検定料.....	10
11. 受験票について	11
12. 試験日・試験場・選考方法	11
13. 試験当日の注意	12
14. 入試結果通知について	12
15. 入学手続について.....	12
16. 個人情報の取り扱いについて.....	13
17. 長期履修制度について	13
18. 奨学金	14
19. 受験上の配慮	14

人間環境大学大学院松山看護学研究科看護学専攻

＜教育理念＞

松山看護学研究科は、看護学の理論・倫理と実践を往還的に教授研究し、看護学の発展に寄与するとともに人々の健康問題の予防・改善・解決に向けて科学的・論理的に取り組むことができる人材を養成し、福祉、健康文化の向上に寄与することを教育理念とする。

博士前期課程

＜教育目的＞

保健・医療・福祉分野に関連する個人あるいは集団に対して、健康上の課題や看護の問題解決・改善に研究的な視点で取り組むことができ、科学的思考力・臨床指向型研究力を養い、倫理観が高く、卓越した看護実践力、管理能力、教育的能力を身につけるとともに、人々の健康問題解決に向けて他職種と連携・協働し、社会貢献できる人材の育成を目的とする。

＜教育目標＞

- ①専門領域の高度な知識・理論・倫理観を有し、看護の実践・教育・管理の改革・改善に取り組むことができる能力を養う。
- ②看護の実践・教育・管理の中で生じる課題・問題に対して、科学的・倫理的判断とエビデンスに基づく看護が実践できる能力を養う。
- ③看護実践・看護教育・看護管理の発展を目指して、研究的取り組みができる能力を養う。
- ④保健・医療・福祉チームにおける看護専門職者としての役割を理解し、他職種との協働・連携を促進できる能力を養う。

＜入学受け入れの方針＞

（アドミッション・ポリシー）

人間環境大学大学院松山看護学研究科の教育理念、教育目的、教育目標を達成し、教育者・研究者・実践者を育成するため、以下の要件を備えた学生を受け入れる。

- ①看護実践上の課題・問題に対して科学的に解明・追究しようとする積極的な姿勢のある人。
- ②看護学に関連する専門的基礎的知識・技術を有し、看護実践の質向上を探究する意欲のある人。
- ③人間に対する深い愛情と倫理的視点を持ち、研究活動に継続的に取り組むことができる人。
- ④看護学の発展に寄与し、看護実践、教育指導、研究能力を高めるために、主体的に学ぶ姿勢のある人。
- ⑤幅広い視点で、保健・医療・福祉チームの中核となり、チームメンバーと協働・連携し、社会貢献できる人。

(カリキュラムポリシー)

看護学の教育・研究・実践における指導的役割を担う人材を育成するための科目を配置する。

専門領域は「基盤看護学領域」「発達看護学領域」「広域看護学領域」の3領域とし、教育課程は「共通科目（必須・選択）」と3領域の「専門科目」により編成する。

- ①共通科目には、看護学の教育・研究・実践における指導的役割を担えるようになるための基盤となる看護学及び関連諸科学の理論や技法を修得する科目を配置する。
- ②看護学領域の専門科目は、各看護学領域の特性を踏まえた最新の知見や知識を統合し、研究的取り組みの視座を得て、看護実践への洞察を深めるとともに、教育能力を修得するための科目を配置する。
- ③研究指導を受け修士論文を作成するとともに、継続的に取り組むことができる研究課題を見出すことのできる科目を配置する。

学修方法は、講義・演習・グループ討議・シミュレーション教育・ICT教育・フィールドワーク、研究活動のいずれかを取り入れる。学修成果の評価は、授業科目では到達目標と履修判定指標、成績評価基準をコマシラバスに明示し総合的に評価し、研究では主査1名と副査2名の審査委員による修士学位論文審査・最終試験により評価する。

(ディプロマポリシー)

定める期間在学して研究指導を受け、所定の単位を修め、修士論文の審査に合格し、最終試験において以下の能力が認められた者に修士（看護学）の学位を授与する。

- ①専門領域において幅広く深い知識を備え、質の高い看護実践や管理・教育を導き出すために、開発・検証する研究能力を身につけることができる。
- ②看護学分野において、専門的で高度な看護実践能力、及び看護教育力を身につけることができる。
- ③看護の実践・管理・教育・研究における倫理的課題・問題に対応する能力を身につけることができる。
- ④看護専門職者として、保健・医療・福祉領域における他職種連携・協働する能力を身につけることができる。
- ⑤保健・看護の課題に関して、主体的・科学的・論理的な分析に基づき、社会に対して検討・提言する能力を身につけることができる。

松山看護学研究科看護学専攻 博士前期課程

1. 専門分野・領域・募集人員・取得できる学位

専 攻	専門領域	募集人員	取得できる 学 位
看護学 専攻	・ 基盤看護学領域 ・ 発達看護学領域 ・ 広域看護学領域	5 名	修 士 (看護学)

※令和 8 年度の募集領域については必ず事前に確認してください。(入試・広報部 TEL 0564-48-4321
もしくは代表番号 TEL 0564-48-7811)

※一般選抜と社会人特別選抜（通算 2 年以上の勤務経験者が対象）を実施します。

2. 各専門領域の担当教員

人間環境大学大学院 松山看護学研究科 看護学専攻

研究領域	職名	氏名 ＜メールアドレス＞	主な研究テーマ
基盤看護学領域	教授	河野 保子 ※ ＜y-kawano@uhe.ac.jp＞	専門は基礎看護学、高齢者看護学。研究内容は看護師の自己効力感とキャリアアップ、看護職とアサーション、医療における患者の人権、患者の日常生活活動とQOL、看護実践と倫理的意思決定である。
	教授	中島 紀子 ※ ＜n-nakajima@uhe.ac.jp＞	専門は基礎看護学。研究内容は、看護基礎技術に関するエビデンスに関するテーマ、また限界集落地域における健康生活を維持するための社会的取り組みについて等である。
発達看護学領域	教授	本田 和男 ＜k-honda@uhe.ac.jp＞	専門は外科学専攻（消化器、乳腺）、癌の遺伝子解析、癌の化学療法・遺伝子治療である。
	教授	三並 めぐる ※ ＜m-minami@uhe.ac.jp＞	専門は小児看護学と学校保健学。研究内容は子どもが生涯無煙環境で育つための家族支援、タバコフリーの実現と喫煙防止教育、養護教諭の危機管理能力を高める実践研究である。
	教授	佐伯 由香 ※ ＜y-saeki@uhe.ac.jp＞	専門は看護生理学。看護技術の効果のエビデンスを生理学的手法を使用して検証する。また、補完代替療法の効果を同様に検証し、医療・介護の現場での応用の可能性を探索している。
	教授	高田 律美 ※ ＜n-takata@uhe.ac.jp＞	専門は母性・小児・国際看護学。研究テーマは「睡眠」、「乳幼児の予期せぬ突然死予防」、「プレコンセプションケア」、「途上国の周産期」他、疫学研究などの母子研究を研究テーマとしている。
	教授	羽藤 典子 ※ ＜n-hato@uhe.ac.jp＞	専門は小児看護学。研究内容は、働く母親の病児保育の利用に関する子育て支援、学童期と思春期の女性に焦点をあてた冷え関連症状の緩和を目指した基礎的研究である。
広域看護学領域	教授	宮崎 博子 ＜h-miyazaki@uhe.ac.jp＞	専門は公衆衛生看護学。精神障害者への生活支援、精神障害者の家族支援、児童虐待防止のための保護者支援、地域で生活する高齢者の健康づくりを研究テーマとしている。
	教授	岡 多枝子 ※ ＜t-oka@uhe.ac.jp＞	専門は保健福祉医療専門職連携教育（IPE）、家族社会学。研究内容は性と健康教育、特性ある子どもの支援、終末期の質（QOD）、健康寿命と予防医学、KJ法指導法等である。
	教授	赤松 公子 ※ ＜k-akamatsu@uhe.ac.jp＞	専門は基礎看護学、高齢者看護学。しびれのアセスメントツールの開発、ケア技術の検討、尺度開発、QOLの向上、セルフケア支援に関する内容を研究テーマとしている。
	教授	別宮 直子 ※ ＜n-bekku@uhe.ac.jp＞	専門は精神看護学。精神疾患をもつ対象者のセルフコントロールに向けた支援、精神疾患をもつ対象者と家族への支援、精神科における倫理的課題解決を研究テーマとしている。
	准教授	田中 正子 ＜m-tanaka@uhe.ac.jp＞	専門は在宅看護学。医療依存状況にある在宅療養者及び家族の生活状況、葛藤、QOL向上、自己効力感、生活満足度、ストレス等を研究テーマとしている。

※研究指導教員

付記：記載されている担当教員や研究テーマ等は変更となる場合があります。

3. 修業年限

標準修業年限 2年(在学期間は4年を超えることはできません)

※長期履修制度あり、修業年限3年までとする。(13 頁参照)

4. 入試日程

研究科・専攻	課程	方式	入学資格審査※1		出願期間 (締切日必着)	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
			申請期間 (必着)	結果通知日				
松山看護学 研究科 看護学専攻	博士 前期 課程	I 期	令和7年 8月19日(火) ～ 8月26日(火)	令和7年 9月11日(木)	令和7年 9月16日(火) ～ 9月30日(火)	令和7年 10月19日(日)	令和7年 10月23日(木)	令和7年 11月6日(木)
		II期※2	令和7年 9月22日(月) ～ 10月3日(金)	令和7年 10月16日(木)	令和7年 10月21日(火) ～ 11月5日(水)	令和7年 11月16日(日)	令和7年 11月20日(木)	令和7年 12月4日(木)
		III期※2	令和8年 1月5日(月) ～ 1月13日(火)	令和8年 1月15日(木)	令和8年 1月19日(月) ～ 1月30日(金)	令和8年 2月22日(日)	令和8年 2月26日(木)	令和8年 3月5日(木)

※1 入学資格審査が必要な者が対象です (7、8 頁を参照)。

※2 定員を満たした場合には、募集を締め切ることがあります。各領域の募集状況については、入試・広報部までお問い合わせください。

5. 出願資格

次の条件（１）～（９）のいずれかに該当する者。

- （１）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、及び令和8年3月31日までに卒業見込みの者。
- （２）独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者。
- （３）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- （４）外国の学校が行う通信教育の授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、及び令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- （５）我が国において、外国の大学の課程(外国の学校における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、及び令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- （６）専修学校の専門課程(修学年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、及び令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- （７）令和8年3月31日で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者と本研究科が認めた者。
- （８）学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
- （９）本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、令和8年3月31日までに22歳に達する者(看護系、看護師の養成課程の短期大学(専攻科を含む)、専修学校、各種学校等の卒業者・修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、本研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者)。

注1 出願資格（７）（８）（９）により出願する者は、Ⅰ期では令和7年8月19日（火）～8月26日（火）、Ⅱ期では令和7年9月22日（月）～10月3日（金）、Ⅲ期では令和8年1月5日（月）～1月13日（火）の期間に入学資格審査に必要な書類（8頁を参照）を入試・広報部に提出してください。

注2 出願資格について不明な点がある場合は、出願する前に必ず入試・広報部までお問い合わせください（問い合わせは10頁を参照）。

注3 社会人特別選抜への出願は、通算2年以上の勤務経験者が対象です。

6. 研究領域等についての事前相談

出願を希望する者は、出願(出願手続)に先立ち、必ず志望する専攻領域の研究指導教員と面談し、入学後の研究・教育(履修内容等)について事前に相談してください。研究領域、研究指導教員への連絡、面談は出願までに済ませてください。教員連絡先は、5頁で確認してください。

7. 入学資格審査について

出願資格(7)(8)(9)に該当する者は、出願前に以下の書類を期限までに提出し、入学資格の審査を受けてください。

審査の結果、入学資格を認定された場合に出願が認められます。

なお、入学資格審査に関して、費用はかかりません。

(1) 提出書類

9頁を参照のうえ以下の書類を提出してください。

本学ホームページ「入試情報 松山看護学研究科 出願書類」より封筒貼付用宛名シートをA4サイズでカラー印刷し、市販の角2封筒に貼付してください。必要書類を中に入れ、出願期間内（締切日必着）に簡易書留速達で郵送してください。

提出書類①は本学ホームページ「入試情報 松山看護学研究科 出願書類」よりダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

提出書類	
①入学資格審査申請書（様式4）	本研究科所定の用紙（様式4）。研究業績や社会における活動経験を具体的に記入ください。
②成績証明書	大学・短期大学・看護専門学校など該当する教育機関の証明書で、厳封したものを提出してください。
③卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書	出身大学長などが証明したものを提出してください。
④免許証等の写し（該当者のみ）	保健師、助産師、看護師、介護福祉士、理学療法士などの免許証の写し。
⑤研究業績調書（様式3）	本研究科所定の用紙（様式3）を用い直接入力するか、もしくは黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。

注1 必要に応じて、他の書類の提出を求める場合があります。その場合は速やかに指示に従ってください。

注2 入学資格を証明する書類（修了証明書・成績証明書等）の氏名が、改姓等により現在の氏名と異なっている場合は、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を別途提出してください。

(2) 提出先

〒790-0005

愛媛県松山市花園町 3-6

人間環境大学 松山キャンパス 大学院松山看護学研究科 入試係

(3) 申請期間

I 期 令和7年8月19日（火）～8月26日（火）必着

II 期 令和7年9月22日（月）～10月3日（金）必着

III 期 令和8年1月5日（月）～1月13日（火）必着

(4) 入学資格審査結果通知日

I 期 令和7年9月11日（木）

II 期 令和7年10月16日（木）

III 期 令和8年1月15日（木）

本人宛に郵便にて発送します。

8. 出願手続・出願書類等

本学ホームページ「入試情報」より出願サイトにアクセスし、ネット出願登録後、入学検定料を支払い必要書類※をダウンロードし印刷してください。(2) 宛名ラベルを貼付した角2封筒に出願書類(1)と(3)～(9)を入れ、出願期間内(締切日必着)に簡易書留速達で郵送してください(別冊のネット出願ガイド参照)。

なお、出願登録時に顔写真(正面・上半身肩口まで・脱帽・背景無地のもので、出願日前3ヶ月以内に撮影したもの)のアップロードが必要です。「ネット出願ガイド」をよく確認し、あらかじめ写真データを用意しておいてください。

出願書類(3)(4)(8)(9)は本学ホームページ「入試情報 松山看護学研究科 出願書類」よりダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

(1) ネット出願志願票※	ネット出願登録と入学検定料を支払い後、出願サイトの「マイページ」からダウンロードし、A4サイズでカラー印刷してください。
(2) 宛名ラベル※	ネット出願登録と入学検定料を支払い後、出願サイトの「マイページ」からダウンロードし、A4サイズでカラー印刷してください。 市販の角2封筒に貼付してください。
(3) 履歴書 (様式1-1)	①本学所定の用紙(様式1-1)を用い直接入力するか、もしくは黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。 ②出願後の記載の変更は認めません。
(4) 志望領域、志望理由 及び研究計画書 (様式2-1)	本研究科所定の用紙(様式2-1)を用い直接入力するか、もしくは黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。
(5) 成績証明書 (学部)	出身大学長又は学部長が出願日よりさかのぼって4ヶ月以内に証明したものを提出してください。大学以外の教育機関で教育(保健師、助産師、看護師)を受けた者は、当該校の学校長が出願日よりさかのぼって4ヶ月以内に証明したものを提出してください。
(6) 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が証明したものを提出してください。大学以外の教育機関で教育(保健師、助産師、看護師)を受けた者は、当該校の学校長が証明したものを提出してください。学位授与機構から学士の学位を授与された者は、学士の学位証明書を、授与される見込みの者は、学位授与申請受理証明書を提出してください。
(7) 免許証等の写し (該当者のみ)	保健師、助産師、看護師、介護福祉士、理学療法士などの免許証の写しを提出してください。 免許証取得見込みの者は、取得後速やかに提出してください。
(8) 研究業績調書 (様式3)	本研究科所定の用紙(様式3)を用い直接入力するか、もしくは黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。
(9) 所属長承諾書(様式5)	在職中に入学を希望する場合は、所定欄を記入し提出してください。

注1：出願書類(5)(6)(7)のうち入学資格審査申請時に提出した書類は、出願時に再提出する必要はありません。

注2：出願資格を証明する書類(修了証明書・成績証明書等)の氏名が、改姓等により現在の氏名と異なっている場合は、戸籍抄本(戸籍個人事項証明書)を別途提出してください。

9. 出願に関する注意事項

- (1)出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
- (2)入学試験の結果に関する照会には応じません。
- (3)入学願書に虚偽の記載をした場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 7 頁「5. 出願資格(1)(2)」による出願者で、出願資格または入学資格を令和 8 年 3 月 31 日までに取得見込みで受験し、入学時までには本研究科の定めた出願資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。また、納入した入学金(入学金が免除されている場合には入学金相当額)の返還も行いません。
- (5)本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続・選抜方法、本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。
前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

問い合わせ先

〒444-3505

愛知県岡崎市本宿町上三本松 6-2

人間環境大学 入試・広報部(TEL 0564-48-4321)もしくは代表番号(TEL 0564-48-7811)

[受付時間 月～金 9:00～17:00(祝日除く)]

10. 入学検定料

(1)入学検定料 35,000 円 (別途 事務手数料 1,500 円)

(2)納付方法

ネット出願登録後、支払い方法を選択し納入してください(別冊のネット出願ガイド参照)。

【入学検定料の返還について】

払込後の入学検定料は、次の①、②の場合を除き、いかなる場合も返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合、または出願が受理されなかった場合
- ②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

入学検定料の返還請求をする者は、入試・広報部(TEL 0564-48-4321)もしくは代表番号(TEL 0564-48-7811)まで連絡し、本学ホームページからダウンロードした必要書類を令和 8 年 3 月 31 日(火)必着で送付してください。

[受付時間 月～金 9:00～17:00(祝日除く)]

11. 受験票について

受験票は、出願書類を受理した後、出願サイトの「マイページ」に公開します。

受験票を印刷後、出願時に入力した内容であるか、必ず確認してください。

志願票と内容が異なる場合は、下記まで連絡してください。

試験日 2 日前までにダウンロードできない場合は下記まで連絡してください。

人間環境大学 入試・広報部(TEL 0564-48-4321)もしくは代表番号(TEL 0564-48-7811)

〔受付時間 月～金 9:00～17:00(祝日除く)〕

12. 試験日・試験場・選考方法

(1) 試験日

I 期 令和 7 年 10 月 19 日(日)

II 期 令和 7 年 11 月 16 日(日)

III 期 令和 8 年 2 月 22 日(日)

(2) 試験場

人間環境大学 松山キャンパス

愛媛県松山市花園町 3-6

TEL 089-909-7001

伊予鉄道「松山市駅」より徒歩 3 分

(3) 選考方法

〈一般選抜〉入室完了 9:40

科目	専門科目	専門領域別小論文	口頭試験
時間	10:00～11:00	11:20～12:20	専門領域別小論文終了後 1 人 30 分程度
配点	100 点	100 点	100 点
補足	看護学などの一般基礎知識を問う。	保健・医療・福祉分野に関する知識を問う。	これまでの研究などの概要・今後の方向性を5分～10分で口頭発表。その後、質疑応答を行う。

〈社会人特別選抜〉入室完了 11:05

科目	専門領域別小論文	口頭試験
時間	11:20～12:20	専門領域別小論文終了後 1 人 30 分程度
配点	100 点	100 点
補足	保健・医療・福祉分野に関する知識を問う。	これまでの研究などの概要・今後の方向性を5分～10分で口頭発表。その後、質疑応答を行う。

13. 試験当日の注意

(1) 試験日当日

注：交通事情及び悪天候などの理由で予告なく交通機関が変更・運行中止になる場合があります。

試験当日は、受験票及び筆記用具を持参のうえ 9:40(社会人特別選抜は 11:05)までに受付を済ませ指定する試験室に入室を完了してください。

試験中に使用できるもの及び机の上に置けるものは、受験票・筆記用具(HB または B の黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム)、時計(辞書や電卓・端末等の機能があるもの・秒針音のするもの・大型のものを除く)、メガネです。

- (2) 携帯電話、スマートフォンなどを時計代わりに使用することを禁止します。携帯電話、スマートフォンなどは必ず電源を切ってカバンなどの中に入れてください。
- (3) 当日の昼食は持参してください。
- (4) 遅刻は試験開始後 20 分まで認めますが、中途退出は認めません。
- (5) 学内に駐車場はありません。また、送迎などで駐停車する場所也没有ありません。

14. 入試結果通知について

- ・合格発表日 I 期 令和 7 年 10 月 23 日(木)
II 期 令和 7 年 11 月 20 日(木)
III 期 令和 8 年 2 月 26 日(木)
入試結果は、出願サイトの「マイページ」で合格発表日の 13:00 から 3 日後の 17:00 まで照会できます。入試結果を印刷する場合は、印刷ボタンを押してください。
- ・入試結果通知 受験者本人に郵送での入試結果通知は行いません。
入試結果に関する問い合わせには一切応じられません。

15. 入学手続について

合格者は別冊の「ネット出願ガイド」7～8 頁をよく確認し、入学手続をしてください。

(1) 入学手続

下記入学手続期限までに入学手続納付金 525,000 円を納入し、入学手続書類を入試・広報部に提出してください。

・入学手続期限(厳守)

- I 期 令和 7 年 11 月 6 日(木)
- II 期 令和 7 年 12 月 4 日(木)
- III 期 令和 8 年 3 月 5 日(木)

(2) 学生納付金

	入学手続時	1 年次 9 月	2 年次 4 月	2 年次 9 月
入学金 ^{※1}	200,000 円	—	—	—
授業料等	前期 475,000 円	後期 475,000 円	前期 475,000 円	後期 475,000 円
奨学金 ^{※2}	—150,000 円	—150,000 円	—150,000 円	—150,000 円
合計	525,000 円	325,000 円	325,000 円	325,000 円

※1 本学卒業生は入学金を全額免除します。

※2 奨学金として年間 30 万円を減免します(標準修業年限のみ)。

その他下記費用が必要になります(これまでの実績により算出していますので、項目、金額等については変更となる場合があります)。

学生証作成費	1,550 円
マイクロソフトライセンス利用料	2,000 円
生成 AI 登録料	23,760 円
備蓄用品	2,000 円
合計	29,310 円

- ・「日本看護学校協議会共済会(Will)保険料」「健康診断費用自己負担分」等の徴収については別途周知します。
- ・上記以外に教科書代及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。

【学生納付金の返還について】

一旦納入された学生納付金は返還しません。令和8年度大学院入試の合格者で、入学金・前期授業料を納入後、令和8年3月31日(火)17:00までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金(入学金が免除されている場合には入学金相当額)を除いた学生納付金を返還します(振込手数料本人負担)。

また、出願資格または入学資格を卒業や取得等の見込みで受験し入学時までには要件を満たせないことが判明した場合も、入学金(入学金が免除されている場合には入学金相当額)を除いた学生納付金を返還します(振込手数料本人負担)。

16. 個人情報の取り扱いについて

出願に際し提出いただく書類の取り扱いには、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守し、適正かつ、安全に管理し、以下の1～3の目的以外には使用しません。

1. 出願関係書類などの氏名、住所、その他の個人情報は、本学において、1)出願処理、2)入試の実施、3)入試結果通知、4)合格の入学手続と、これらに付随する事項(願書不備などの連絡など)を行う際に利用します。
2. 願書の不備などがあった場合には、その訂正・補完を迅速に行うため、あなたが本学を受験されること及び、あなたの提出した書類に不備などがあることを、あなたの出身大学などに通知する場合があります。
3. 個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学大学院における入学者選抜のための調査・研究資料、文部科学省などの調査報告、入学後の教育目的などに使用します。

17. 長期履修制度について

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度で、仕事などとの両立を図りながら修了を目指すことができます。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることになります。

(1)申請資格

有職者(正規雇用者に限らず、主としてその収入で生計を立てている者)、出産、育児、介護、その他やむを得ない事情を有する者。

(2)申請期限

入学手続き完了者あるいは入学者は、長期履修規程第4条2項の申請期限内において申請を受け付けます。

(3)申請場所

人間環境大学松山キャンパス事務部

(4)長期履修期間及び在学可能期間

	標準修業年限	長期履修期間	在学可能期間
博士前期課程(修士課程)	2年	3年	4年(標準修業年限2年×2)

*在学可能期間の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

*休学の期間は、上記期間に含まれません。

*長期履修の有無にかかわらず、在学可能期間内に修了することができない場合には除籍の対象となります。

(5)申請書類

①長期履修申請書(所定様式)

②申請資格を証明する文書(職業を有する者については、在職証明書又は、それに代わるものなど。

育児・介護などを行う者については、当該事由を証明する文書「診断書」など)

(6)授業料

長期履修学生の授業料の年額については、標準修業年限に相当する年数を乗じた額を、長期履修期間の年数で除した額となります。

18. 奨学金

名 称	金 額	概 要
人間環境大学 奨学金	年間 30 万円の授業料減免(2年間分)	入学者全員が対象
日本学生支援 機構奨学金 (返還義務あり)	第一種奨学金(無利子)	高度な研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる人。 ※条件、選考基準があります。
	第二種奨学金(有利子)	高度な研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる人。 ※条件、選考基準があります。
	入学時特別増額貸与奨学金(有利子)	上記の奨学金の初回振込時に増額して1回だけ振込。単体での申し込みはできません。

19. 受験上の配慮

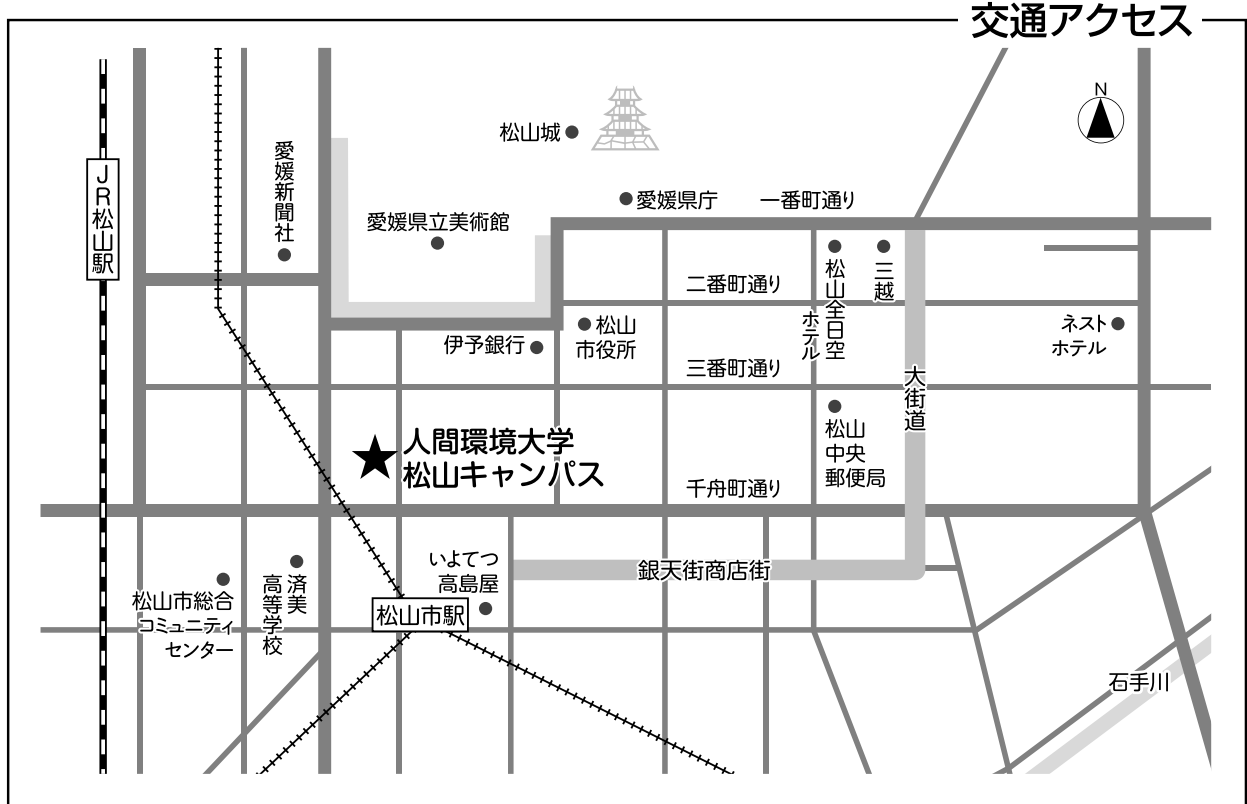
受験時において、障がい・疾病・怪我等による配慮を希望される場合は、出願前に入試・広報部(TEL 0564-48-4321)へご相談いただき、大学の配慮内容について確認していただく必要があります。出願前のご相談がなく受験された場合、ご希望される支援等を準備できない場合がありますのでご注意ください。

なお、出願前に配慮についてご相談いただくことで入試結果の判定が不利となることはありません。

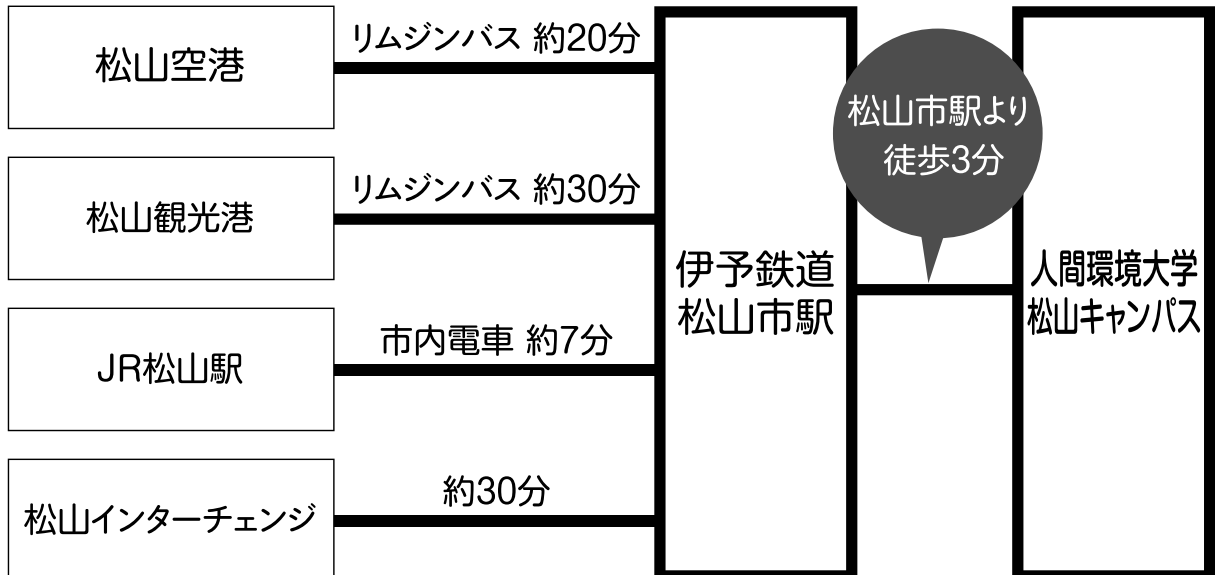
入学後の配慮についてのご相談は、学生支援部(TEL 0564-66-6120)までお問い合わせください。

人間環境大学 松山キャンパス

〒790-0005 愛媛県松山市花園町3-6



最寄駅 伊予鉄道松山市駅までのアクセス



※時間は乗車時間の目安です。乗り換え時間は入っていません。

● 入試に関する問い合わせ先 ●

人間環境大学

〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2

入試・広報部
代表番号

TEL 0564-48-4321
TEL 0564-48-7811

URL <https://www.uhe.ac.jp/> E-mail koho@uhe.ac.jp